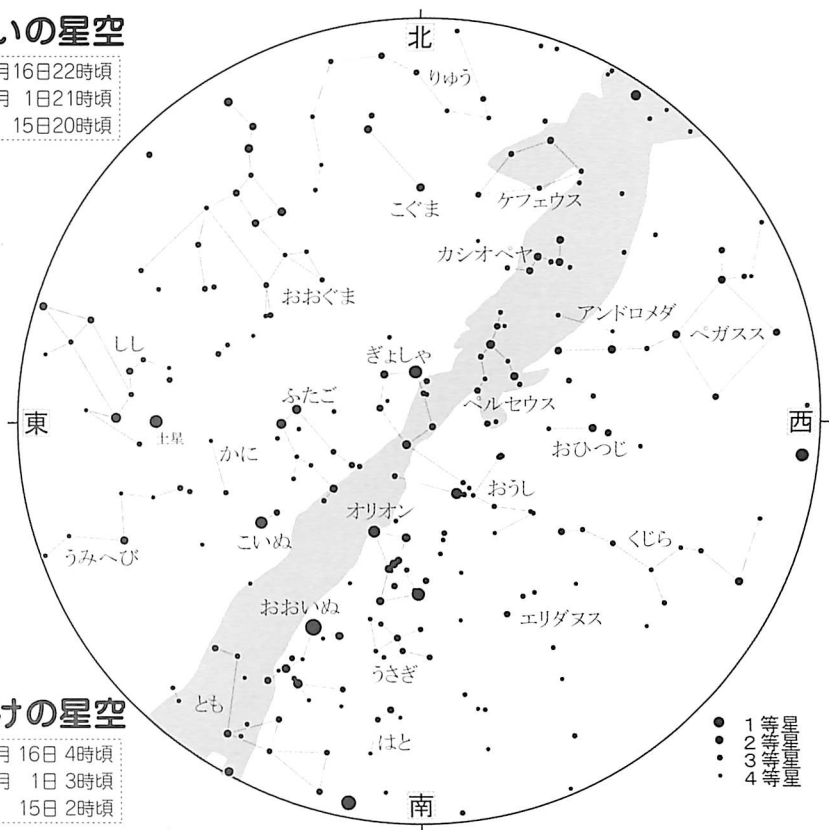


★星空ガイド 1月16日～2月15日

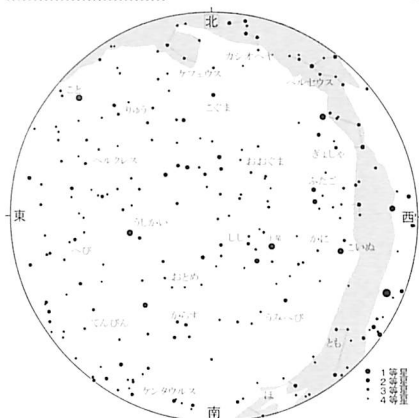
よいの星空

1月16日22時頃
2月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

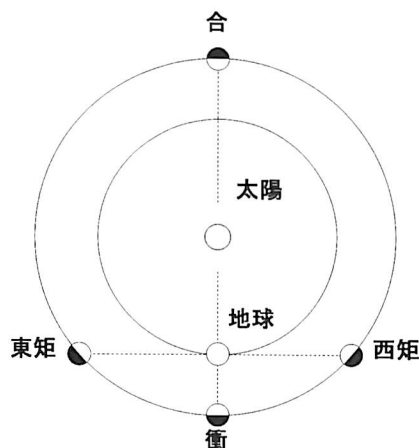
1月 16日 4時頃
2月 1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
1	16	火	7:04	17:10	4:30	13:56	26.5
	21	日	7:03	17:15	8:33	19:33	2.0
	26	金	7:00	17:20	11:03	0:11	7.0
2	1	木	6:56	17:26	16:22	6:22	13.0
	6	火	6:52	17:31	21:19	8:45	18.0
	11	日	6:48	17:36	1:12	11:02	23.0
	15	木	6:44	17:40	5:04	14:44	27.0

惑星は2月15日の位置です。



土星と地球の位置関係

地球から見たときに、ちょうど太陽と反対側の位置に来ることをいいます。太陽と反対側に見えるわけですから、日没とともに東の空に現れ、真夜中に南中し、明け方日の出とともに西の空に沈むことになります。これからしばらくの間は、一晩中土星を観測することができます。また、地球からの距離も近くなりますので、光度も明るくなっています。

現在の土星はしし座にあります。ししの大がまの中で、1等星のレグルスと並んで0等級という明るさで輝いているので、大阪の街中でもすぐに見つけることができますでしょう。

(江越航：科学館学芸員)

<土星が衝>

土星がそろそろ見ごろになってきました。土星は太陽系の中の惑星のひとつで、特に輪を持っていることで大変有名です。土星の輪は、小型の望遠鏡でも簡単に観測することができます。

さて2月11日には、土星が衝の位置に来ます。衝というのは、

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
1	17	水	土用の入り／月と火星がならぶ
	19	金	●新月(13時)
	20	土	大寒(太陽黄経300°) イスラム暦1428年初
	21	日	月と金星がならぶ
	22	月	天王星食(14:46～15:30) 月が最近(22時、366926km)
	26	金	●上弦(8時)
	27	土	月とすばるがならぶ
	31	水	月とポルックス・カストルがならぶ
2	2	金	○満月(15時)／月と土星がならぶ
	3	土	節分／月とレグルスがならぶ
	4	日	立春(太陽黄経315°)
	7	水	月が最遠(22時、404992km)
	8	木	水星が東方最大離角(夕方、西の空) 月とスピカがならぶ
	10	土	●下弦(19時)
	11	日	土星が衝
	12	月	月と木星・アンタレスがならぶ
	14	水	変光星しし座R(4.4～11.3等) 極大のころ
	15	木	月と火星がならぶ